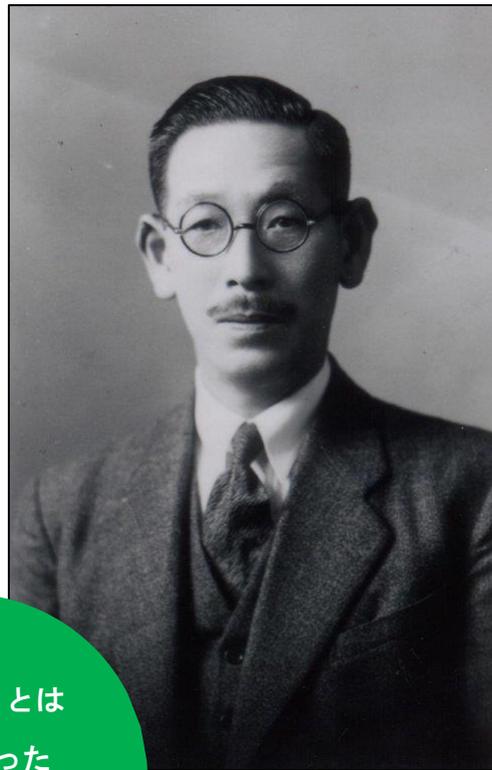


岩手県立図書館 子ども向け  きょうどしりょう
郷土資料

vol.1

きんだいち きょうすけ
金田一 京助

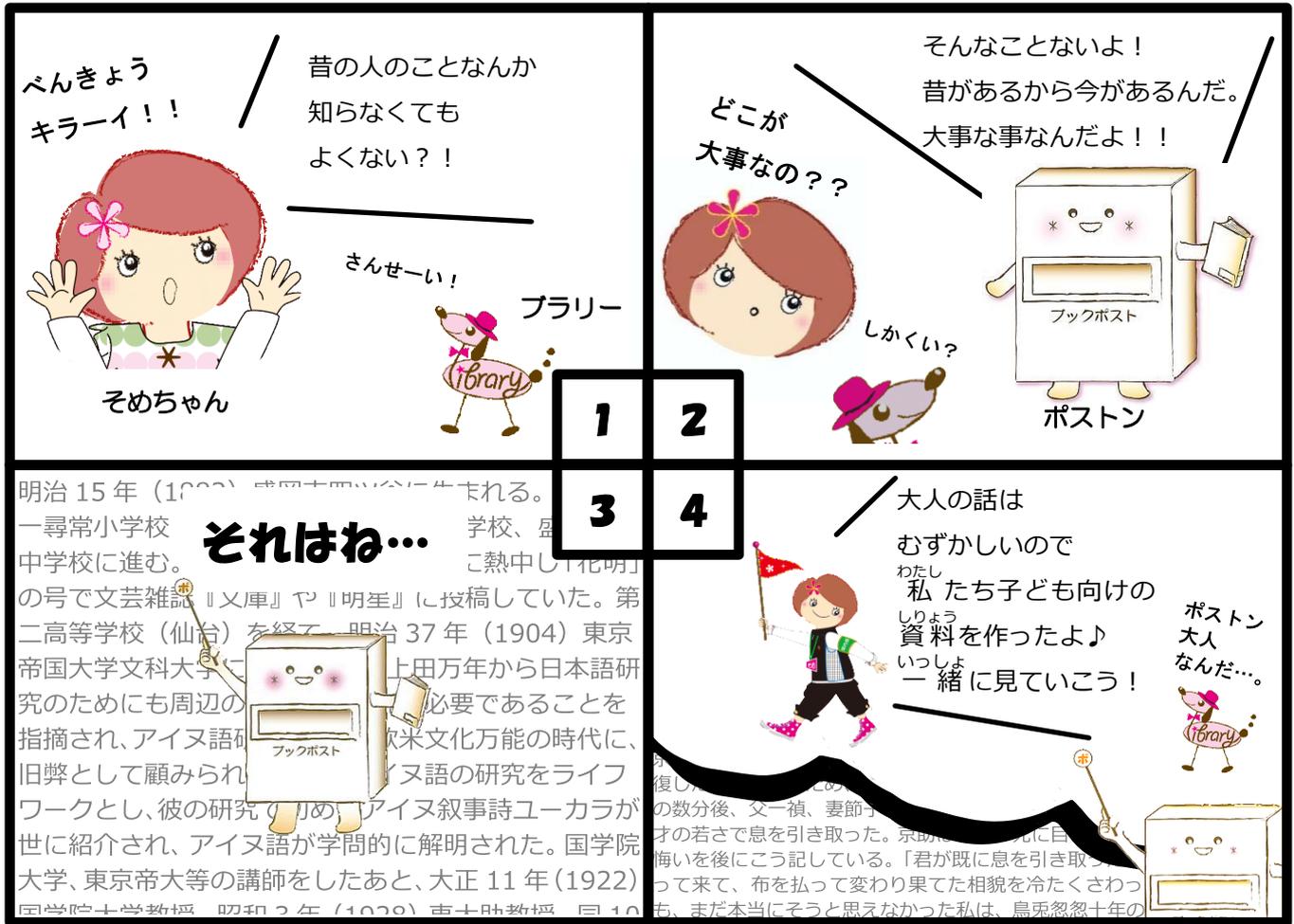


きょうど
「郷土」とは
生まれ育った
ふるさとの
こと!



きょうど
「郷土」の
ことをたくさん
知ろう!

はじめに



目次

きんだいちきょうすけ 金田一京助ってどんな人?	1
きょうすけ 少年時代の京助	2
文学へのめざめ	3
もりおか 盛岡中学のなかまたち	4
きょうすけ たくぼく 京助と啄木	5
けんきゅう アイヌ語研究の道へ	9
きょうすけ 京助がのこしたもの	12
まとめ	13
きんだいちきょうすけ じけんぼ 金田一京助の事件簿	15
きんだいちきょうすけ 金田一京助年表	16
さんこうしりょう 参考資料	18
きょうりょく 協力	20

きんだいちきょうすけ 金田一京助ってどんな人？

きんだいち きょうすけ
金田一 京助

めいじ
(明治15年(1882)5月5日～昭和46年(1971)11月14日)

日本を代表する言語学者の一人。アイヌ語の研究で有名。

いしかわたくぼく
歌人・石川啄木の親友としても知られている。

ていこく おんし うえだかずとし きょうみ
東京帝国大学時代、恩師・上田万年のみちびきにより、アイヌ語に興味をもつ。

じょじし けんきゅう かんこう
昭和6年(1931)、『アイヌ叙事詩ユーカラの研究』を刊行。

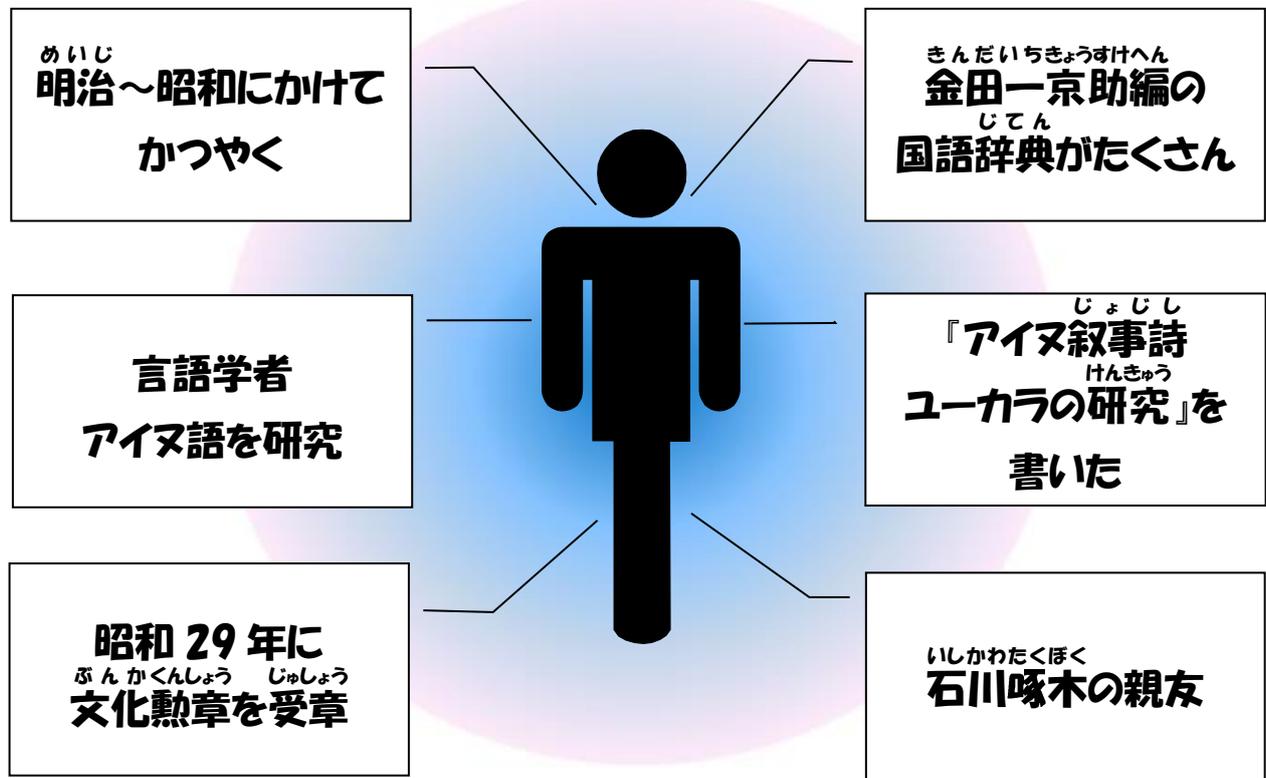
よくとし ていこくがくしいんおんししやう じゅしやう
翌年、帝国学士院恩賜賞を受賞。

また、昭和29年(1954)には岩手県出身者としては2人目となる**文化勲章を受章**した。

じてん へんさん てが
国語辞典や教科書の編纂を手掛けたほか、

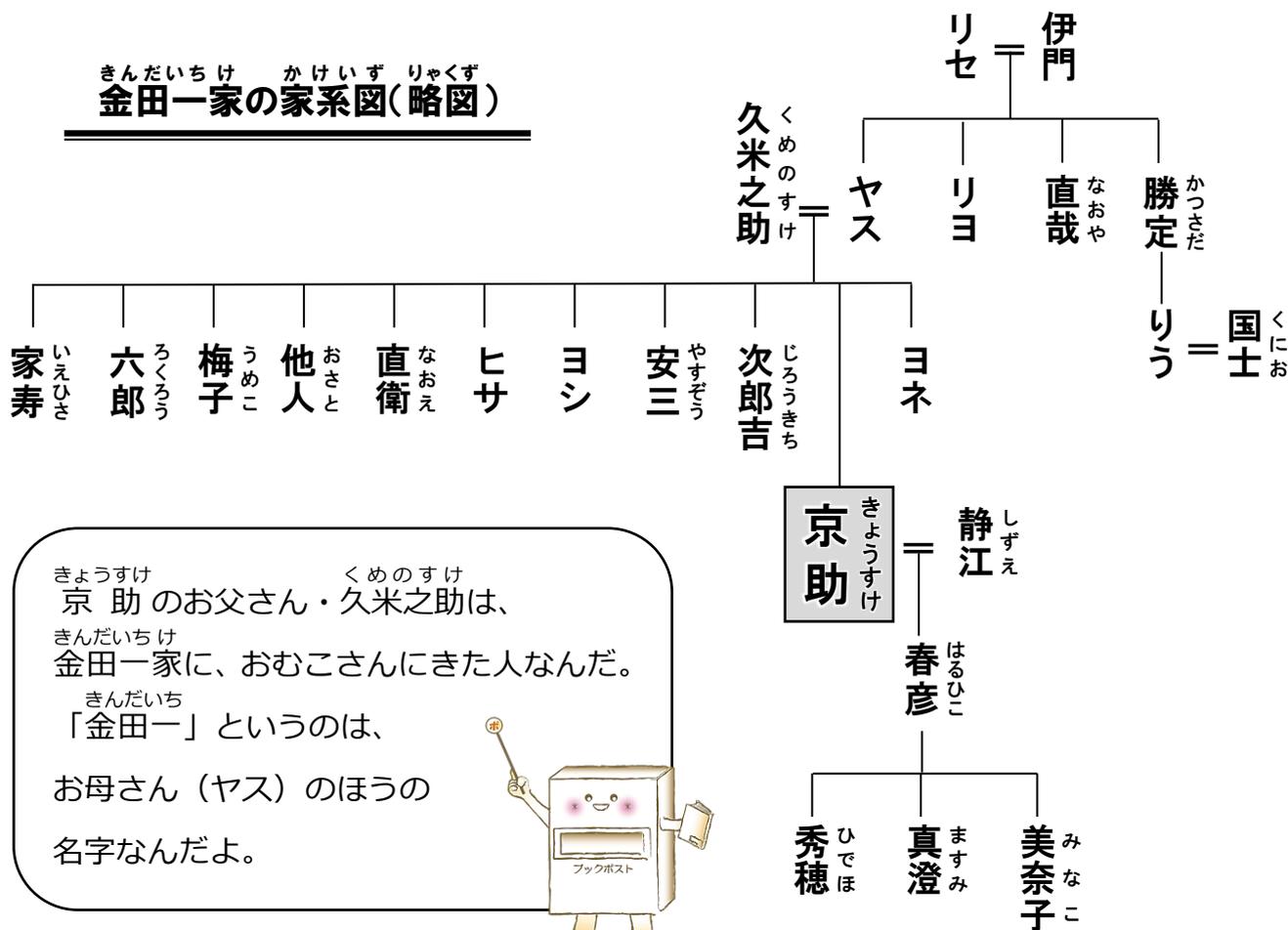
しんぎかい げんだい せいてい こうけん
国語審議会委員として現代かなづかい制定に貢献。

昭和46年(1971)、家族や友人たちに見守られながら90才で死去。

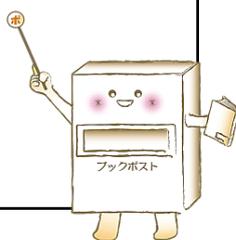


少年時代の京助

金田一家の家系図(略図)



京助のお父さん・久米之助は、
金田一家に、おむこさんにきた人なんだ。
「金田一」というのは、
お母さん(ヤス)のほうの
名字なんだよ。

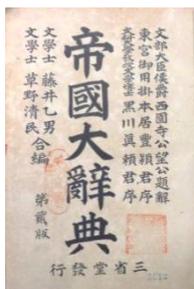


金田一京助は、明治15年(1982)5月5日、盛岡市四ツ谷町(いまの本町通)に、父・久米之助と母・ヤスの長男として生まれました。1才になる前に弟の次郎吉が生まれたため、京助はしばらくの間、乳母のヤエさんのところへあずけられることになりました。乳母とは、お母さんのかわりにお乳をくれる人のことです。ところが、ヤエさんはとてもきびしい人で、お父さんやお母さんに会いたくなった京助は、2才の時に家にもどってきてしまいます。お母さんは、まだまだ小さい次郎吉についていなくてはなりませんので、夜、おさない京助といっしょにねてくれたのは、お父さんの久米之助でした。お父さんは、絵や習字がとても上手な人でした。そんなお父さんにて、京助も絵がうまく、大きくなったら絵かきになりたいと思っていたそうです。しかし、中学1年生のときにけがで中指とくすり指が曲がらなくなってしまい、思うように絵がかけなくなってしまったのです。もともと本を読むことも好きだった京助ですが、けがのあとはいっそう読書に熱中するようになりました。

文学へのめざめ

きょうすけ おじ かつさだ くら きょうすけ
京助の伯父さん・勝定の家には、本をしまっておくための大きな蔵がありました。京助
がかりにいくと、おじ 伯父さんはよろこんでその中からいろいろな本をかしてくれました。おじ
さんのおかげで、きょうすけ 京助は子どものころからたくさんの本を読むことができました。

中学1年生のときにお父さんにたのんで買ってもらった『帝国大辞典』は、きょうすけ 京助がはじめて
て読んだ国語辞典です。じてん じてん 辞典をひらいてひとつひとつの言葉を調べることは、まるで知らない国
を旅するような楽しさがありました。そしてめいじ しまざきとうそん しじん 明治30年、島崎藤村【詩人・1872 - 1943】の
『わかなしゅう わかなしゅう 若菜集』という詩の本が出ます。さっそく買って読んだきょうすけ 京助は、そのすばらしさに感動して、
自分でも短歌を作るようになりました。中学校の上級生になるころには、かめい がごう 「花明」という雅号
(ペンネーム) で作った短歌が、有名な歌人・よさのてっかん 与謝野鉄幹【1873 - 1935】が中心となって出
していたぶんげいざっし ぶんこ 『文芸雑誌』や 『みょうじょう 明星』にとり上げられるほどになりました。



ていこくだいじてん
『帝国大辞典』

さんせいどうしょてん
三省堂書店 1896年



しまざきとうそん わかなしゅう
島崎藤村『若菜集』

しゅんようどう
春陽堂 1896年



こんな本を
読んでいたよ！

おじ 伯父 きんだいち 金田一 かつさだ 勝定【1848 - 1920】

きんだいちかつさだ きょうすけ
金田一勝定は、きょうすけ 京助のお母さんの兄、つまり京助にと
おじ っては伯父さんにあたります。もりおかぎんこう いわてけいべんてつどう
盛岡銀行や岩手軽便鉄道、
もりおかでんきかぶしきがいしゃ
盛岡電気株式会社など、たくさんの会社を作り、その会長や
社長もつとめました。はってん 岩手県の発展につくした人です。

かつさだ きょうすけ
勝定は京助をとてまかわいがっていました。きょうすけ 京助の勉強
をはげまし、また、アイヌ語を調べるために北海道へ行くこと
になったときも、進んでお金を出してくれるなど、きょうすけ 京助の研
究をささえてくれたりかいしゃ 理解者の一人でした。



もりおかしせんじんきねんかん
画像提供：盛岡市先人記念館

もりおか 盛岡中学のなかまたち

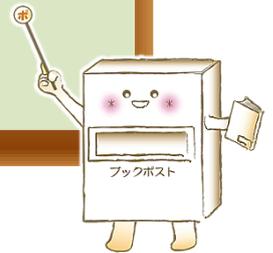
めいじ 29年(1896)、きょうすけ 京助が14才で入学した岩手県立盛岡中学校(今の岩手県立盛岡第一高等学校)。19才でそつぎょう 卒業するまで、なかまたちといっしょに学びました。

◆ もりおか 盛岡中学黄金時代

きょうすけ 京助が入学したころのもりおか 盛岡中学には、のちにないかくそうりだいじん 首相(内閣総理大臣)になったよないみつまさ 米内光政や、ぜにがたへいじとりものひかえ 「銭形平次捕物控」シリーズを書いた作家・のむらこどう 野村胡堂など、大きくなってから有名になった人たちがたくさんいました。

◆ ねつ りゅうこう 文学熱の流行

そのころのもりおか 盛岡中学の生徒たちの間では、自分たちの書いた詩や短歌などをまとめたざっし 雑誌を作ることがはやっていました。もちろんきょうすけ 京助も、なかまたちといっしょにざっし 雑誌を作っています。



きょうすけ 京助と同じころのもりおか 盛岡中学のなかまたちを、しょうかい 何人が紹介するね!

せんばい 先輩

よない みつまさ
米内 光政
【1880 - 1948】

かいぐんたいしょう しゅしょう
海軍大将・首相

もりおか 盛岡市出身。もりおか 盛岡中学からかいぐん へい がっこう 海軍兵学校をそつぎょう 卒業。かいぐんだいじん 海軍大臣をつとめたあと、昭和15年(1940)1月、首相になりました。もりおか 盛岡中学時代、きょうすけ 京助はよくよない 米内に、じゅうどう 柔道のけいこをつけてもらっていました。

どうきゅうせい 同級生

た こ いちみん
田子 一民
【1881 - 1963】

せいしか 政治家

もりおか 盛岡市出身。きょうすけ 京助とは高等小学校時代もどうきゅうせい 同級生でした。早くにちち 父親を亡くし、はたら 働きながら学校へ通い、もりおか 盛岡大学をそつぎょう 卒業。もりおか 農林大臣、しゅうぎいんぎちよう 衆議院議長などをつとめ、せんご 戦後はせんご 社会福祉活動にもつくしました。

どうきゅうせい 同級生

のむら こどう
野村 胡堂
【1882 - 1963】

きつか おんがくひょうろんか
作家・音楽評論家

し わ ぐん おお まき 紫波郡大巻村(今のし わ のむら おさ か ず 紫波町)出身。本名野村長一。のむら こ どう 野村胡堂の名前で人気シリーズ「ぜにがたへいじとりものひかえ 銭形平次捕物控」を書く一方、あらいびすのペンネームでひょうろん 音楽評論も行いました。きょうすけ 京助のしょうがい 生涯の友人です。

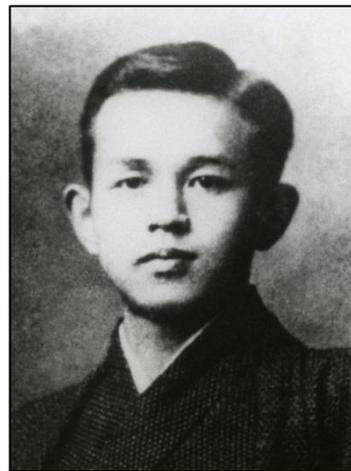
きょうすけ たくぼく 京助と啄木

もりおか 盛岡中学のなかまたちの中でも、とくに、きょうすけ 京助の人生に大きくかかわったのが、歌人として有名な、いしかわたくぼく 石川啄木です。

こうはい 後輩

いしかわ たくぼく 親友 石川 啄木【1886 - 1912】

いしかわはじめ めいじ 本名石川一。明治19年(1886)、いわてぐんひのと もりおか 岩手郡日戸村(今の盛岡市たまやまくひのと よくとし しぶたみ もりおか たまやまくしぶたみ 玉山区日戸)生まれ。翌年、渋民村(今の盛岡市玉山区渋民)へてんきよ 転居。小さいころから天才少年といわれ、こうとう 高等小学校を一番のせいせき そつぎょう 成績で卒業するほどでした。しかし中学校に入り文学にねっちゅう 熱中するようになると、だんだんせいせき 成績が下がり、ついにはカニング事件をおこして、学校をやめてしまいます。学校をやめたたくぼく 啄木は、作家になろうとがんばりますが、思うようにいかず、苦しい生活がつづきました。そんなたくぼく 啄木をささえつづけた一人が、きょうすけ 京助です。



いしかわたくぼくきねんかん
画像提供：石川啄木記念館

な 亡くなったあと発行された『たくぼく 啄木全集』によって、たくぼく 啄木の名前は、いちやく有名になりました。たくぼく 啄木の短歌は、今もたくさんの人に、あい 愛されています。

● よんでみよう！ たくぼく 啄木短歌 ●

たくぼく 啄木の短歌には、生まれ育ったふるさと・岩手のことを歌ったものが、めいじ たくさんあります。明治43年(1910)に出した歌集『いちあく すな 一握の砂』から、いくつかしょうかい 紹介します。

ふるさとの山に向ひて
言ふことなし
ふるさとの山はありがたきかな

こずかた しろ ね
不来方のお城の草に寝ころびて
す
空に吸はれし
十五の心



「ふるさとの山」は
岩手山かな？

こずかた しろ
「不来方のお城」は
もりおかじょうし
今の盛岡城址公園
(岩手公園)のことだよ



二人が、どうやってなかよくなっていたのか、みてみよう！



もりおか
《生まれてから盛岡中学時代まで》

きんだいち きょうすけ 金田一 京助		いしかわ たくぼく 石川 啄木	
明治 15年	もりおか よつや 盛岡市四ツ家町(本町通)に生まれる	明治 19年	いわてぐんひのと もりおか たまやまく 岩手郡日戸村(盛岡市玉山区)に生まれる
21年	もりおか じんじょう げん におう 盛岡第一尋常小学校(現・仁王小)入学	24年	しぶたみじんじょう げん しぶたみ 渋民尋常小学校(現・渋民小)入学
25年	もりおか げん しものほし 盛岡高等小学校(現・下橋中)入学	28年	もりおか げん しものほし 盛岡高等小学校(現・下橋中)入学
このころ、二人がはじめて出会う … ①			
29年	もりおかじんじょう げん もりおか 盛岡尋常中学校(現・盛岡一高)入学	31年	もりおかじんじょう げん もりおか 盛岡尋常中学校(現・盛岡一高)入学
33年	かめい みょうじょう 花明の名前で「明星」に短歌がのる	たくぼく きょうすけ みょうじょう 啄木、京助に『明星』をかりにくる … ②	
34年	もりおか そつぎょう 盛岡中学校を卒業 みやぎ せんたい げん 宮城県仙台市にある第二高等学校(現・東北大学)へ入学	35年	かんにんぐ じけん しょぶん う カンニング事件により処分を受ける もりおか たいがく 盛岡中学校を退学 文学をころろざして上京するが、体をこわしたため、翌年岩手にもどる

① 出会い めいじ 明治28年(1895)

二人がはじめて出会ったのは、めいじ 明治28年(1895)4月、たくぼく もりおか 啄木が盛岡高等小学校に入学した年でした。きょうすけ たくぼく 京助が、啄木のりっぱなおでこにさわって「おでこちゃん！」とからかうと、おこったたくぼく 啄木がとびかかってきました。きょうすけ 京助は、「赤んぼうのようなかわいらしい顔とちがって、気の強い子だな」とおどろいたそうです。



はじめちゃん

② 文学なかまとして めいじ 明治34年(1901)

めいじ 明治34年(1901)、きょうすけ よさ のてっかん たんか とうきょう 京助が、与謝野鉄幹を中心とした短歌グループ「東京新詩社」のメンバーだということを知ったたくぼく きょうすけ 啄木が、京助のところへ「『明星』をかりたい」とやってきました。これをきっかけに、2人は親しくつきあうようになりました。



それぞれの道へ

もりおか
盛岡中学を出たあと、二人はそれぞれちがう道へとすすみます。

せんだい そつぎょう きょうすけ
仙台の高校を卒業し東京の大学へとすすんだ京助は、詩や短歌といった「文学」よりも、

言葉について研究する「言語学」の道をえらび、アイヌ語について調べはじめました。

たくぼく ゆめ
一方、啄木は文学への夢をあきらめきれないまま、学校の先生や新聞記者などの仕事をしながら、あちこちを転々としていました。

めいじ くしろ たくぼく しょうせつか
明治41年(1908)4月、北海道釧路の新聞社ではたらいっていた啄木は、小説家をめざすために会社をやめてしまいます。そして、家族を函館の友人・宮崎郁雨【歌人・1885 - 1962】のところにあずけて、東京へと向かいました。

いっしょにくらす

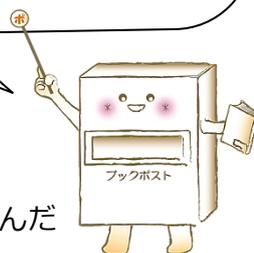
きょうすけ たくぼく めいじ
東京の中学校で国語の先生をしていた京助のところへ啄木がやってきたのは、明治41年(1908)4月29日のことでした。5月4日には、きょうすけ せきしんかん
京助の下宿・赤心館へ引っ越し、こうして二人はいっしょにくらしはじめました。

たくぼく めいじ
啄木が東京朝日新聞ではたらきはじめ、北海道にのこしてきた家族を東京によびよせる、明治42年(1909)6月までの1年2か月の間、二人の共同生活はつづきました。

たくぼく
東京でくらしはじめた啄木は、はりきってたくさん
しょうせつか
小説を書いたけれど、ぜんぜん売れなかったんだ。
きょうすけ たくぼく
そのため、京助は自分だけでなく、お金のない啄木の
めんどろ
分も、面倒をみなくてはいけなかった。このころの
きょうすけ きゅうりょう
京助の給料は、1ヶ月35円。二人分の下宿代30
円をはらってしまうと、ほとんどのこらなかった。



短歌が有名だけど、
じつは、小説家になりたかったんだ



めいじ きょうすけ たくぼく
明治41年ごろの京助と啄木
いしかわたくぼくきねんかん
画像提供：石川啄木記念館

いっしょにくらしはじめた二人は、毎日のようにおたがいのへやを行き来し、あつく語りあったといいます。京助きょうすけはそんな友人をととても大切に思い、自分自身も苦しい生活だったにもかかわらず、できるかぎり啄木たくぼくを助けつづけました。

びっくり！友情エピソード



きょうすけ

京助、大切な本を売って、下宿代に

ある日、どうしても二人分の下宿代がはらえなくなった京助きょうすけは、下宿のおかみさんに、「もう少しだけ、はらうのをまってほしい」とたのみますが、ことわられてしまいます。京助きょうすけは自分のだいじな本を売って、そのお金で足りない分の下宿代をはらいました。その後、二人は赤心館せきしんかんを出て蓋平館別荘がいへいかんべっそうという下宿に引っこしました。



いしかわたくぼく

石川啄木は大どろぼうの弟？！

二人がべつべつにくらすようになってからも、啄木たくぼくはよく京助きょうすけのところへお金をかりにきました。そのころ京助きょうすけは結婚けっこんしていて、家族のくらしは楽ではありませんでしたが、ときには自分たちの着物を売ってまで啄木たくぼくにお金をかしていました。京助きょうすけの長男・金田一春彦きんだいち はるひこ【国語学者・1913 - 2004】は、そのころの話をよくお母さんから聞かされていて、家にやってきてはお金をもっていく啄木たくぼくのことを、名字が同じ「石川」なだけに有名な大どろぼう・石川五右衛門いしかわごえもんの弟かなにかのように思っていたそうです。

たくぼく

啄木死後

明治43年(1910)に出したはじめての歌集『一握の砂』によって、啄木たくぼくは歌人として知られるようになりました。しかし、明治45年(1912)4月13日、肺結核はいけっかくで亡くなります。26才というわかさでした。

その日、京助きょうすけは啄木たくぼくのお見まいに来ていましたが、容体ようたいもよさそうに見えたので、ひとまず安心して仕事へとでかけました。しかしその数分後、啄木たくぼくは息をひきとります。そばにいてやれなかったことを、京助きょうすけはその後ずっと後悔こうかいしつづけました。

啄木たくぼくが亡くなったあとの京助きょうすけは、大切なこの友人のことを多くの人に知ってもらおうと、本や雑誌に啄木たくぼくとの思い出を書きのこしました。昭和9年(1934)に発行された『石川啄木いしかわたくぼく』には、啄木たくぼくとの感動的な友情てきゆうじょうのエピソードがたくさんついています。

けんきゅう アイヌ語研究の道へ

中学のころは文学に熱中していた京助ですが、高校や大学へすすむうちに、だんだんとその気持ちはさめていきました。かわりに興味をもったのが、言葉について調べる学問である「言語学」です。中でも一番おもしろかったのが、上田万年【言語学者・1867 - 1937】先生の授業でした。京助は上田先生のもとで、日本語とまわりの国々の言葉との関係を研究するようになりました。ある日、上田先生に「アイヌ語研究は、世界に対する日本の学者の役目」と言われた京助は、アイヌ語の研究をえらびます。しかし、ほかに研究している人がほとんどいない分野。手さぐりでの調査は、とてもたいへんなことでした。

明治45・大正元年(1910)、親友・啄木が亡くなったこの年、京助は1才の娘と大好きだった父親も亡くしています。その上、辞典の校正係としてつとめていた出版社・三省堂が倒産。仕事も失い、京助にとって人生で一番つらい年になりました。しかし、おかずにさえこまる毎日がつづいても、京助はアイヌ語研究の道をあきらめませんでした。



ユーカラ録音中の京助
もりおかしせんじんきねんかん
画像提供：盛岡市先人記念館

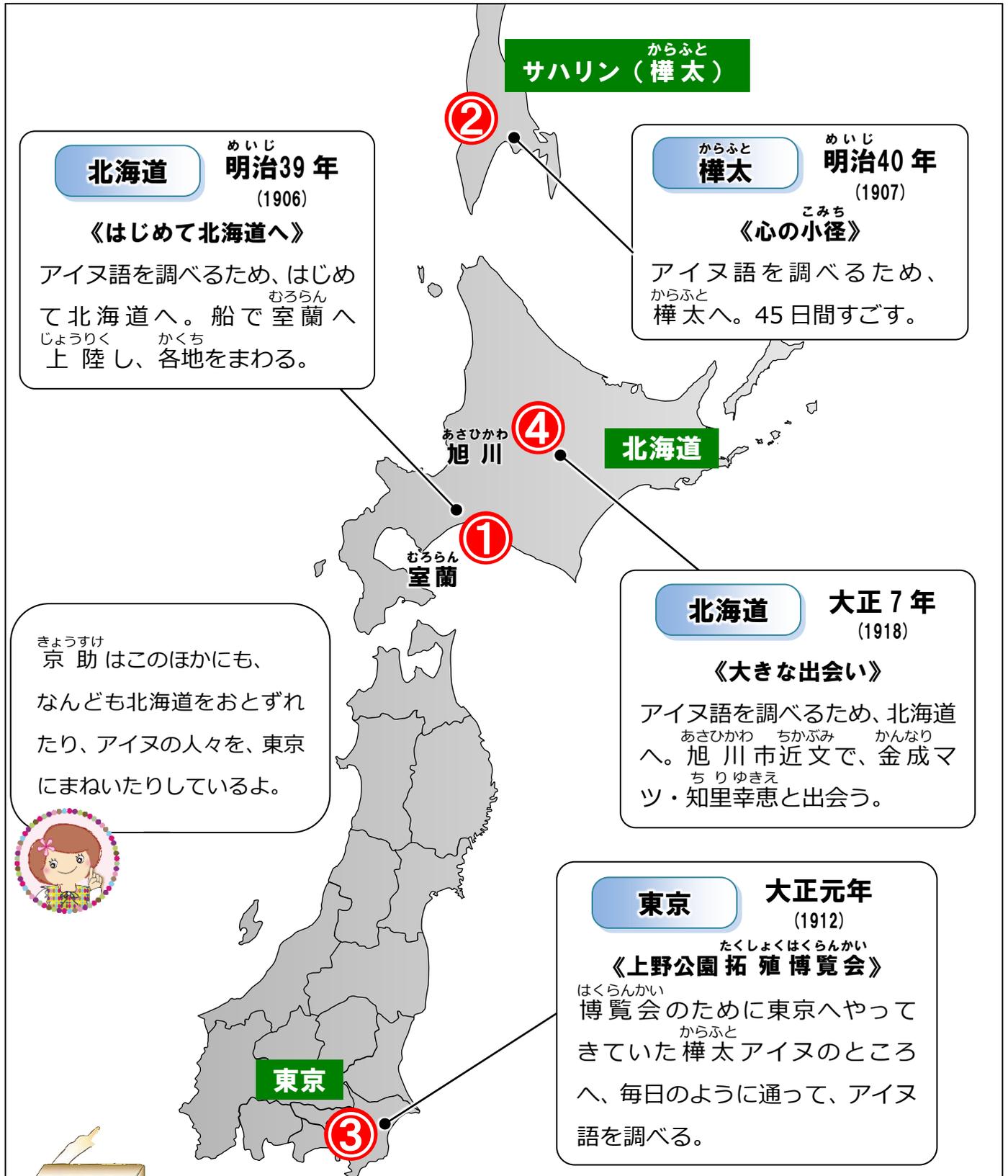
アイヌの人々と文化

北海道やサハリン(京助のころは、樺太とよばれていました)に、むかしからすんでいた人々を「アイヌ民族」といいます。それに対して日本で一番数が多い民族を、アイヌの人々は「和人」とよんでいます。江戸時代には、北海道のほとんどのところにアイヌ民族が住んでいました。アイヌの人々は北海道の自然とともに暮らし、その中でゆたかな文化を育てていました。しかし、明治時代に入り多くの和人が北海道にうつりすむようになると、和人たちはアイヌの文化や習慣の多くを和人風にかえさせようとしてきました。言葉も日本語を使うように言われたため、アイヌのわかい人たちの中には、アイヌ語をあまり話せない人もふえていきました。アイヌ語には文字がありません。そのかわり、アイヌの人々は、神々や英雄のものがたりなどを語り手が語って聞かせる口承文芸「ユーカラ」を、大切にうけついできました。歴史や生きる知恵などを、文字に書いてのこすのではなく口から口へと語りつたえてきたのです。しかし、アイヌ語を話す人はどんどんへってきています。このままアイヌ語を話せる人がいなくなってしまうのなら、アイヌ語がどんな言葉だったのかも分からなくなってしまう……京助はそう考えたのでした。

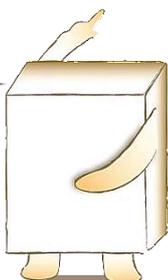


きょうすけ
京助の歩いた道

アイヌ語を調べるため、^{きょうすけ}京助はアイヌの人々に会
って、その話を^{ねっしん}熱心にききました。
そこにはたくさんの^{くろう}苦勞と出会いがありました。



きょうすけ
京助はこのほかにも、
なんども北海道をおとずれ
たり、アイヌの人々を、東京
にまねいたりしているよ。



今のように新幹線や飛行機で旅行できる時代じゃなかったから、北海道やサ
ハリン(樺太)との行き来には、たくさんのお金や時間がかかったんだ。



めいじ きょうすけ からふと
明治40年(1907)、京助がはじめて樺太(サハリン)をおとずれた時のことです。

きょうすけ からふと
とつぜんやってきた京助に、樺太のアイヌたちはなかなか心をひらいてくれませんでした。

からふと
樺太のアイヌ語は、北海道のアイヌ語と少しちがいました。たった一言「これは何?」とたずねる

言葉さえわかれば、そこからいろいろなほかの言葉も調べられるのに、それがわかりません。こま

きょうすけ
ってしまった京助は、スケッチブックをひらいて、あそんでいる子どもたちのようすを絵に書きはじめました。しばらくすると、アイヌの子どもたちが近づいてきてなにやらしゃべっています。

きょうすけ
何の絵かを話しているようです。京助はふと思いついて、こんどはぐるぐるとわけのわからない絵を書きはじめました。子どもたちは首をかしげて「ヘマタ?」「ヘマタ?」と言いあっています。

からふと
北海道のアイヌ語で「何」を「ヘマンダ」といいます。きっと樺太では「ヘマタ」というにちがいは

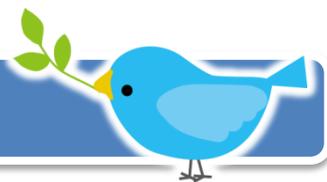
きょうすけ
ありません。こんどは京助が、まわりのいろいろなものを指さして「ヘマタ?(これは何?)」と

からふと
子どもたちにたずねました。子どもたちは口々に樺太アイヌ語で教えてくれました。こうして言葉

きょうすけ
が分かるようになると、子どもたちと京助はすぐになかよくなりました。言葉は心のおくに通じ

こみち きょうすけ
る小径だと京助は言っています。

ちりゆきえ 大きな出会い～アイヌの少女・知里幸恵



ちりゆきえ めいじ のぼりべつ あさひかわ
知里幸恵は、明治36年(1903)、北海道登別に生まれました。7才のときに旭川へ引っ越し、

かんなり そぼ
母・ナミのお姉さんにあたる金成マツ、祖母・モナシノウクといっしょに暮らししていました。二人

ゆきえ きょうすけ
ともユーカラの名人で、幸恵も小さいころからアイヌ語に親しんで育ちました。京助と出会った

ゆきえ きょうすけ
のは、大正7年(1918)、幸恵が15才のときです。アイヌ語も日本語も上手な幸恵は、京助にと

さいこう きょうすけ ゆきえ
って最高のアイヌ語の先生となりました。そんなある日、京助は幸恵にアイヌ文化のすばらし

きょうすけ
さを語り、アイヌ語を文字にしてのこす手つだいをしてほしいとたのみます。京助の言葉に心を

ゆきえ
動かされた幸恵は、子どものころから聞いて育ったカムイユカラ(神々のものがたりを語るユーカ

しんようしゅう
ラ)を、ノートにローマ字表記で書きはじめました。このノートは、やがて『アイヌ神謡集』と

ゆきえ
いう本になりました。アイヌ自身の手による、はじめてのアイヌ語の本です。しかし、もともと体

ゆきえ しんようしゅう
の弱かった幸恵は、『アイヌ神謡集』を書きあげてすぐ、本の発行をまたずに、たった19才でこ

ゆきえ ゆうき
の世を去ります。幸恵がのこしたこの本は、アイヌの人々に大きな勇気をあたえ、アイヌの文化を

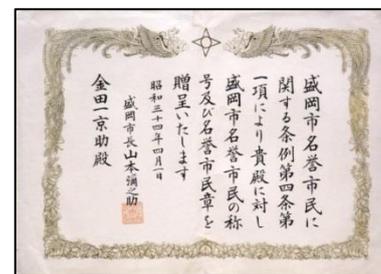
みらい ゆきえ ちりましほ
未来につたえていこうという運動のきっかけの一つとなりました。幸恵の弟・知里真志保【アイヌ

語学者・1909 - 1961】も、アイヌ語の研究者として大きな仕事をなしたとげた人です。

きょうすけ 京助がのこしたものの

アイヌ語の研究のほかにも、^{きょうすけ}京助がのこしたものはたくさんあります。昭和10年代から20年代(1935~1945)にかけては、^{じかい}『辞海』^{めいかいこくごじてん}『明解国語辞典』といった^{じてん}辞典や^{ちゅうとうこくご}『中等国語』などの教科書の^{へんしゅう}編集に、^{さんか}中心となって^{しんぎかい}参加しました。また、国語審議会委員(日本語のきまりをまとめるための委員会)のメンバーとして、^{げんだい}現代^{けいご}かなづかいや敬語など、^{きょうすけ}今わたしたちが使っている日本語のきまりのもとを作るために力をつくしました。

昭和29年(1954)、アイヌ語をはじめとしたこれまでの仕事が^{きょうすけ}みとめられて、^{ぶんかくんしょう}京助は文化勲章をおくられました。昭和34年(1959)には、^{もりおか}盛岡市^{めいよしみんだい}名誉市民^{ごう}第1号にえらばれています。たくさんの^{きょうすけ}苦勞をがまん強^{きょうすけ}くのりこえてきた京助の^{ぶんかくんしょうじゅしょう}がんばりが、^{きょうすけ}むくわれたのでした。文化勲章受章^{きょうすけ}のとき、京助は、つらい生活の中で自分をささえてくれた家族やまわりの人々に、^{きょうすけ}かんしゃの言葉をのべています。

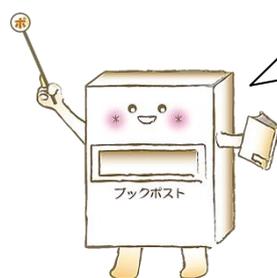


^{ぶんかくんしょうじゅしょう}上：文化勲章受章
^{もりおか}下：盛岡市名誉市民推薦状
画像提供：盛岡市先人記念館

^{げんだい}現代かなづかい

みなさんは、「わたしは」の「は」は、「は」という字を書いて「わ」、「学校へ」の「へ」は、「へ」という字を書いて「え」と読んでいると思います。じつは、^{きょうすけ}京助のころは、こんなふう

に、書いたものと読みがちがうものが、もっとたくさんあったのです。たとえば、きのう今日の「今日」は、ひらがなでは「けふ」と書いていました。



なんて読むかわかるかな？
絵がヒントだよ！

(こたえ：ちょうちょう)

読みかたと書きかたがちがうということは、その分、おぼえることがたくさんあるということです。そこで、もっと分かりやすいきまりをつくらうということになりました。その^{げんだい}まりを「現代かなづかい」といいます。

まとめ

きょうすけ
京 助の研究のなかでも大切なキーワード。
とっても大事だから、しっかりおぼえてね！



ユーカラ

- アイヌ民族が口伝えで受けついできたものがたり（口承文芸）。アイヌ語で叙事詩のこと。
- 「ユカラ」「ユカル」とも。（日本語にはない発音のため、「ラ」や「ル」を小さい文字で書き表すことも）
- 京助は、ユーカラを、人間の英雄の冒険ものがたりである「人間のユーカラ」と、神々が語り手となる「カムイユカラ（神々のユーカラ）」の2種類あるとしました。
- ユーカラの中には、語りおえるのに何日もかかる、とても長いものもあります。

◆『アイヌ叙事詩ユーカラの研究』

大正12年(1923)、関東を大きな地震がおそいました。関東大震災です。このときにおこった火事で、大学の図書館においてあった京助の論文が、やけてなくなってしまいました。京助はとてもがっかりしましたが、まわりの人たちからはげまされ、助けをもらいながら、もう一度書き直しました。そして、昭和6年(1931)、『アイヌ叙事詩ユーカラの研究』が出版されます。京助のアイヌ語研究の大きなまとめとなる本でした。次の年この本には、すばらしい論文にあたえられる「帝国学士院恩賜賞」がおくられました。

◆金成マツノートと『アイヌ叙事詩ユーカラ集』

知里幸恵が亡くなったあと、アイヌ語を文字にしてのこそうという思いを引きついだのは、幸恵の伯母・金成マツでした。マツは、自分がおぼえているたくさんのユーカラを、ノートにローマ字で書きのこしました。京助は、このノートや自分が集めたユーカラを1つでも多く日本語にしてみんなに見せることが、自分の一生の仕事だと思ってとり組みつづけました。京助が日本語に訳したユーカラ集『アイヌ叙事詩ユーカラ集』は、第1巻が昭和34年(1959)に発行され、全部で9巻あります。9巻目は、京助が亡くなったあと出たものです。金成マツのノートの訳は、京助とも交流があった萱野茂【アイヌ文化研究者・1926 - 2006】が引きつぎますが、平成18年(2006)、その萱野茂も亡くなったため、今は中断されています。

★やってみよう★

きんだいちきょうすけ
金田一京助チャート

こたえは
さいごの
ページ!



スタート
生まれたところは？
ア. 盛岡市四ツ谷町
イ. 岩手郡渋民村

たくぼく
啄木の本名は？
ア. 石川 一
イ. 斎藤 一

きょうすけ
京助のペンネームは？
ア. 花明
イ. 一山

もりおか せんばい
盛岡中学の先輩は？
ア. 米内 光政
イ. 野村 胡堂



きょうすけ
京助が研究した
アイヌ民族の叙事詩は？
ア. ユーカラ
イ. カレワラ

きょうすけ
京助がもらったのは？
ア. 文化勲章
イ. 芥川賞

きょうすけ たくぼく
京助が啄木とくらしした
下宿の名前はどっち？
ア. 作人館
イ. 赤心館

きょうすけ
京助が研究したのは？
ア. 英語
イ. アイヌ語

マスター☆レベル
パーフェクト！
かんぺき！すばらしい！

ノーマル☆レベル
ふつう。
まあまあできる方。

ビギナー☆レベル
もう一回
チャレンジ！



めいたんてい 名探偵とのイガイなカンケイ?!

「じっちゃんの名にかけて！」でおなじみ、アニメやドラマにもなったマンガ『^{きんだいち}金田一少年の事件簿』(講談社)。主人公・^{きんだいち}金田一少年の「じっちゃん」の名前は、^{きんだいち}金田一耕助よこみぞといます。横溝よこみぞ正史【小説家・1902 - 1981】の小説シリーズに登場する有名な名探偵です。
^{きんだいち}金田一耕助と^{きんだいち}金田一京助……名前が、にいていませんか? そう。なにをかくそう、実は^{きんだいち}金田一耕助の名前は、^{きょうすけ}京助がもともになっているのです。

ある日、主人公の名前をどうしようかとなやんでいた^{よこみぞ}横溝正史は、近所で「^{きんだいち}金田一」という表さつ(家の門などについている名ふだ)をみかけました。そして、そこに住んでいるのがあの有名なアイヌ語研究者の^{きんだいち}金田一京助きょうすけの弟だと知って、主人公の名前のモデルとして使わせてもらったのだそうです。もし^{きょうすけ}京助がいなかったら、「^{きんだいち}金田一少年」ではなかったかも……?



きんだいちきょうすけ へん 「金田一京助 編」のヒミツ

^{いわて}岩手県立図書館には、「^{きんだいち}金田一京助」という名前が入った国語辞典が30さつ以上あります。みなさんの家にも1さつくらいは「^{きんだいち}金田一京助 編」と書かれた国語辞典があるかもしれません。そのくらい^{きょうすけ}京助の名前が入った辞典はたくさんあります。しかし、本当に^{きょうすけ}京助はこんなにたくさんじてんさんの辞典を作ったのでしょうか? そこにはこんなウラ話のこっています。
^{きょうすけ}京助の長男・^{はるひこ}春彦も、同じように言葉を研究した人でした。辞典も作っています。その^{はるひこ}春彦の話によると、有名な学者である^{きょうすけ}京助の名前が入っているほうがりっぱな辞典に見えるので、^{きょうすけ}京助が作ったわけでもない辞典に名前だけ使わせてほしいとたのまれることが多かったのだそうです。たのまれるとろくにお礼ももらわず引きうけてしまう^{きょうすけ}京助に、^{はるひこ}春彦は注意したのですが、^{きょうすけ}京助は「辞典を作った人のやくに立つためなのだから、いいじゃないか」と答えたそうです。自分がわかいころくろう苦勞した分、今の学者たちの助けになりたいという^{きょうすけ}京助の人のよさが、こんなにたくさんきんだいち金田一京助 編」を生んだのでした。

きんだいちきょうすけ
金田一京助 年表

年	才	出来事
めいじ 明治15 (1882)	0	・5月5日盛岡市四ツ家町（現・本町通2丁目）に、父・久米之助と母・ヤスの長男として誕生。
21 (1888)	6	・4月、盛岡第一尋常小学校（現・仁王小学校）に入学。
23 (1890)	8	・9月、盛岡市大沢川原小路へ転居。
25 (1892)	10	・4月、盛岡高等小学校（現・下橋中学校）入学。このころから、伯父・勝定の蔵から、本を借りて読むようになる。
28 (1895)	13	・1年生として入学してきた石川啄木と出会う。
29 (1896)	14	・4月、岩手県立盛岡中学校（現・盛岡第一高等学校）に入学。文学に熱中する。
33 (1900)	18	・与謝野鉄幹主宰の「明星」の同人となる。「明星」に花明の名で短歌が掲載される。
34 (1901)	19	・3月、盛岡中学校卒業。 ・9月、第二高等学校（現・東北大学）入学。
37 (1904)	22	・9月、東京帝国大学文科大学（現・東京大学文学部）入学。上田万年・新村出らの講義に心を動かされ、言語学科に進む。 ・10月、本郷区（現・東京都文京区）の赤心館に下宿を移す。
39 (1906)	24	・7月、アイヌ語調査のため初めて北海道へ。「ユーカラ」を筆録。
40 (1907)	25	・7月、東京帝国大学文科大学卒業。 ・8月、アイヌ語調査のため樺太へ。45日間滞在。三千行の叙事詩「ハウキ」（樺太アイヌ語でユーカラのこと）を筆録。
41 (1908)	26	・初めての論文「あいぬの文学」を「中央公論」1～3月号に掲載。 ・4月、海城中学校講師嘱託となる。4月末に啄木が上京、5月4日には赤心館に入る。 ・9月、啄木とともに下宿を本郷区の蓋平館別荘へ移す。 ・10月、海城中学校を辞職。三省堂「日本百科大辞典」編修所校正係として勤務。10月末、国学院大学講師嘱託となる。
42 (1909)	27	・6月、啄木、家族が上京し蓋平館別荘を出る。 ・12月、林静江と結婚。転居。
44 (1911)	30	・1月、長女・郁子生まれる。

年	才	出来事
めいじ 明治45 (1912)	30	<ul style="list-style-type: none"> ・1月、長女・郁子死去。 ・3月30日、初の著書『新言語学』脱稿。翌31日、啄木の危篤を知る。『新言語学』の原稿料20円のうち、10円を啄木の見舞い金として送る。4月13日、啄木死去。
大正元 (1912)	30	<ul style="list-style-type: none"> ・9月、父久米之助死去。三省堂解散により失職。 ・10月、上野公園拓殖博覧会に、樺太からギリヤーク、オロッコ、アイヌが参加。日参してアイヌ語調査を行う。
2 (1913)	31	<ul style="list-style-type: none"> ・4月、長男・春彦誕生。 ・10月、東京帝国大学講師（アイヌ語）嘱託となる。
7 (1918)	36	<ul style="list-style-type: none"> ・8月、北海道へ調査旅行。旭川市近文では、金成マツを訪ね、同居中の知里幸恵と出会う。
8 (1919)	37	<ul style="list-style-type: none"> ・7月、母・ヤス死去。
11 (1922)	40	<ul style="list-style-type: none"> ・5月、知里幸恵、上京。京助宅に身を寄せる。幸恵の助言は、京助のアイヌ語研究の大きな助けとなった。 ・9月18日、幸恵死去。
12 (1923)	41	<ul style="list-style-type: none"> ・9月1日、関東大震災。このとき、東大図書館に保管中の京助の学位論文「ユーカラの研究」が焼失。
昭和6 (1931)	49	<ul style="list-style-type: none"> ・1月、『アイヌ叙事詩ユーカラの研究』を刊行。
7 (1932)	50	<ul style="list-style-type: none"> ・5月、『アイヌ叙事詩ユーカラの研究』に帝国学士院恩賜賞が授与される。
13 (1938)	56	<ul style="list-style-type: none"> ・三省堂の『辞海』の編纂始まる。
16 (1941)	59	<ul style="list-style-type: none"> ・東京帝国大学教授となる。
18 (1943)	61	<ul style="list-style-type: none"> ・5月、三省堂から『明解国語辞典』刊行。
23 (1948)	66	<ul style="list-style-type: none"> ・執筆中の「アイヌ語辞典」の原稿など盗難。
25 (1950)	68	<ul style="list-style-type: none"> ・三省堂から『中等国語』を編集刊行。全国の半数近くの中学校に採用される。
27 (1952)	71	<ul style="list-style-type: none"> ・4月、国語審議会委員。(昭和33年(1958)11月まで)
29 (1954)	73	<ul style="list-style-type: none"> ・11月3日、文化勲章を受章。
34 (1959)	78	<ul style="list-style-type: none"> ・4月1日、盛岡市名誉市民第一号に推される。 ・12月、『アイヌ叙事詩ユーカラ集第1巻』（金成マツ筆録、京助訳注）刊。昭和50年(1975)までに、全9巻刊行。
46 (1971)	90	<ul style="list-style-type: none"> ・11月14日、死去。

さんこうしりょう 参考資料

<図書>

書名 (本の名前)	ちよしや 著者 (書いた人)	発行者 (出したところ)	発行年 (出した年)
いわてひゃっかじてん 岩手百科事典	—	いわてほうそう 岩手放送	1988
もりおか せんじん 盛岡の先人たち	—	もりおか し せんじんきねんかん 盛岡市先人記念館	2003
いわてけんせいしれきしじんぶつだいじてん 岩手県姓氏歴史人物大辞典	—	かどかわしよてん 角川書店	1998
きんだいちきょうすけぜんしゅう 金田一京助全集 だい かん だい かん 第13巻～第15巻	きんだいち きょうすけ 金田一 京助	さんせいどう 三省堂	1993
★ わたくしのこどものころ 3	—	せいこうしゃ 盛光社	1966
★ もりおか せんじん 盛岡の先人たち	—	もりおか し しょうがっこうちょうかい 盛岡市小学校長会	2004
★ もりおか せんじん 盛岡の先人	—	もりおか し ちゅうがっこうちょうかい 盛岡市中学校長会	2000
きんだいちきょうすけせんせいねんぶ 金田一京助先生年譜	—	さんせいどう 三省堂	1972
きんだいちきょうすけ 金田一京助	ふじもと ひでお 藤本 英夫	しんちょうしゃ 新潮社	1991
きんだいちきょうすけものがたり 金田一京助物語	ほりさわ みつよし 堀沢 光儀	さんせいどう 三省堂	1992
きんだいちきょうすけせんせいおも で き 金田一京助先生思い出の記	きんだいちきょうすけはくし 金田一京助博士 きねんかい へん 記念会／編	さんせいどう 三省堂	1972
おも で 思い出のしおり こ きんだいちきょうすけせんせいついとうかいきねん 故金田一京助先生追悼会記念	—	もりおか し 盛岡市	1971
きんだいちきょうすけ 金田一京助 わたし ある き みち 私の歩いて来た道	きんだいち きょうすけ 金田一 京助	にほんとしよ 日本図書センター	1997
きんだいち はるひこちよさくしゅう 金田一春彦著作集 だい かん 第12巻	きんだいち はるひこ 金田一 春彦	たまがわだいがくしゅつばんぶ 玉川大学出版部	2004
いしかわたくぼくぜんしゅう 石川啄木全集 だい かん だい かん 第1巻・第6巻	いしかわ たくぼく 石川 啄木	ちくましよぼう 筑摩書房	1978 1979

書名 (本の名前)	著者 (書いた人)	発行者 (出したところ)	発行年 (出した年)
たくぼくしりょうてん だい かい 啄木資料展 第29回	—	いわてけんりつとしょかん 岩手県立図書館	2010
しんべんいしかわたくぼく 新編石川啄木	きんだいち きょうすけ 金田一 京助	こうだんしゃ 講談社	2003
にんげんたくぼく ふっこくぼん 人間啄木(復刻版)	いとう けいいちろう 伊東 圭一郎	いわてにっぽうしゃ 岩手日報社	1998
たくぼく きょうすけ 啄木と京助 めいじもりおか わか じんぶつぐんぞう 明治盛岡の若き人物群像	—	もりおか し せんじんきねんかん 盛岡市先人記念館	2006
たくぼく びと まじ 啄木ふるさと人との交わり	もり よしまさ 森 義真	もりおかしゅつぱん 盛岡出版 コミュニティー	2014
きんだいちきょうすけ ご 金田一京助とアイヌ語	おおとも ゆきお 大友 幸男	さんいちしょぼう 三一書房	2001
きんだいちきょうすけ にほんご きんだい 金田一京助と日本語の近代	やすだ としあき 安田 敏朗	へいぼんしゃ 平凡社	2008
★ アイヌ民族:歴史と現在 みらい とも い 未来を共に生きるために	—	ぶんかしんこう アイヌ文化振興・ けんきゅうすいしんきこう 研究推進機構	2013
だいしぜん ほうよう 大自然に抱擁されて・・・ ちり ゆきえ しんようしゅう 知里幸恵「アイヌ神謡集」の せかい 世界へ	—	ほっかいどうりつぶんがくかん 北海道立文学館	2002
ちり ゆきえ しんようしゅう 知里幸恵「アイヌ神謡集」への みち 道	ほっかいどうぶんがくかん へん 北海道文学館／編	ちり ゆきえ 『知里幸恵『アイヌ しんようしゅう みち 神謡集』への道』 かんこういいんかい 刊行委員会	2003
しんようしゅう アイヌ神謡集	ちり ゆきえ へんやく 知里 幸恵／編訳	いわなみしよてん 岩波書店	2009
きんだいちこうすけ きかん 金田一耕助の帰還	よこみぞ せいし 横溝 正史	しゅつぱんげいじゅつしゃ 出版芸術社	1996

<インターネットなど>

- オンラインデータベース『聞蔵Ⅱビジュアル』 <https://database.asahi.com/library2/>

★マークがついているものは、
小学生のみんなが読みやすい本だよ。
ぜひ読んでみてね♪



きょうりょく 協力

しりょう きょうりょく
この資料を作るために協力してくれた
みなさんです。(50音順・敬称略)



いしかわたくぼくきねんかん もりおかしせんじんきねんかん
石川啄木記念館／盛岡市先人記念館

★行ってみよう★

もりおかしせんじんきねんかん
盛岡市先人記念館



もりおか へびやしき
〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字蛇屋敷2番2号

TEL 019-659-3338 FAX 019-659-3387

ホームページ <http://www.mfca.jp/senjin/> (平成27年4月現在)

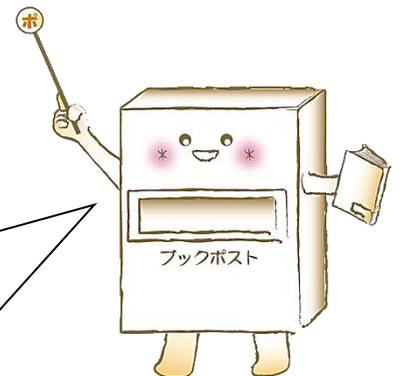
もりおかしせんじんきねんかん
盛岡市先人記念館では、いろいろなジャンルでかつやくした

もりおか せんぱい しょうかい
盛岡の先輩たちが、紹介されているよ。

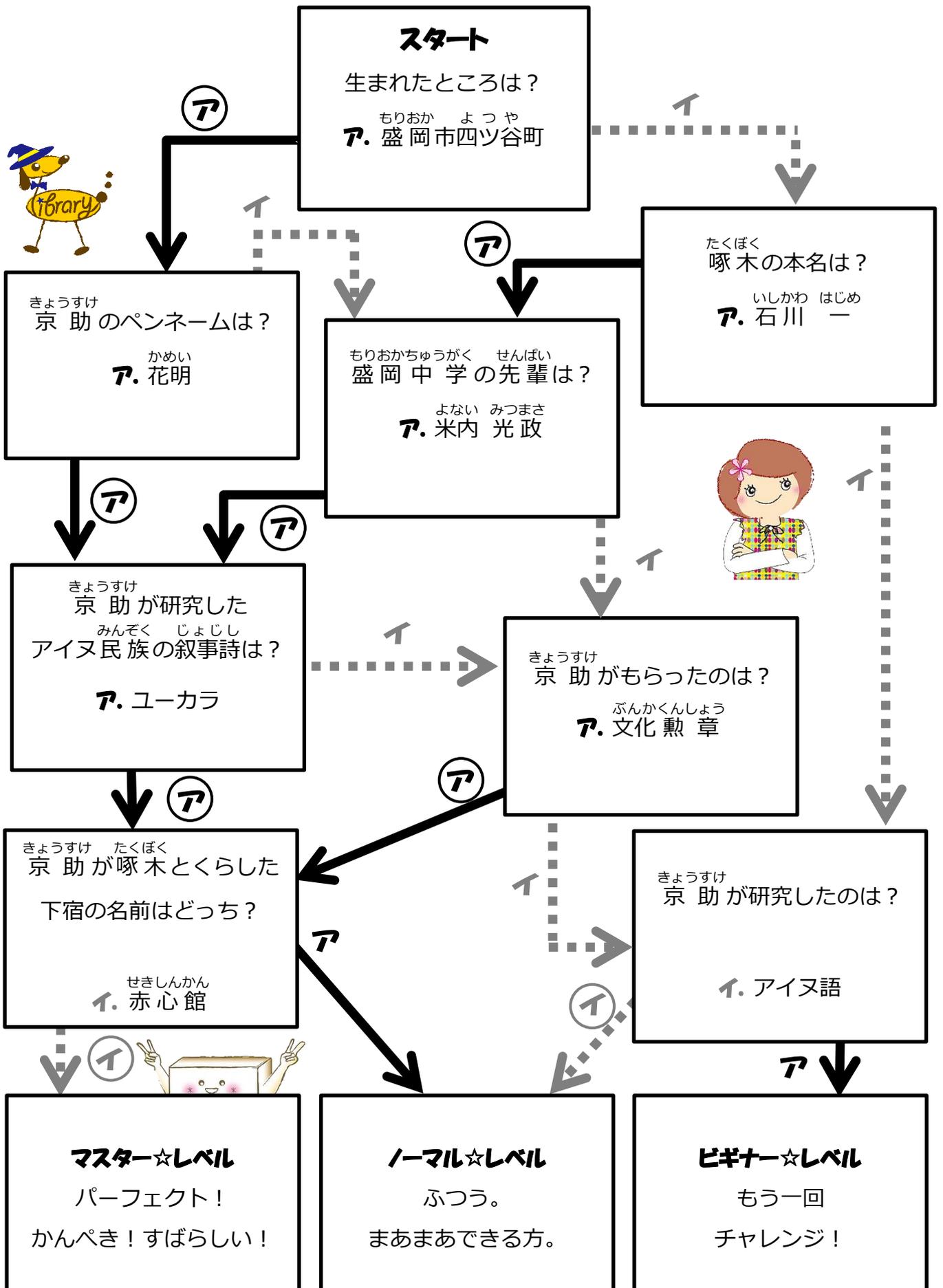
きんだいちきょうすけきねんしつ きょうすけ
「金田一京助記念室」には、京助が使っていた

トランクやメガネなども、かざられているんだ。

きょうすけ しょさい さいげん にしきぎそう ひっけん
京助の書齋を再現した「錦木荘」も必見！



14 ページのこたえ



そめちゃん



ポストン

ブラリー

岩手県立図書館 子供向け郷土資料 vol.1

きょうどしりょう
きんだいち きょうすけ
金田一 京助

発行年：平成 27 年 4 月
発行者：岩手県立図書館 指定管理者